



学校だより

令和3年10月4日

10月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「学校完全スイッチオン」

校長 住田 昌治

「子どもの元気な声、明るい笑顔で、学校に完全スイッチが入ります。」

夏休み明けからの分散登校、今年はA・Bグループに分かれて一日おきの登校でした。スイッチはオフの状態ではありませんが、いつもの学校と違って、少し静かで少し元気のない学校でした。しかし、今週から完全スイッチオン。タブレットを使った学習もずいぶん進み、新たな準備を整えた学校でスタートです。

さて、長い夏休みからの分散登校が終わって、通常の学校生活が始まりましたが、先週までとは、生活のペースが変わりましたので、体調を崩さないよう、お子様の心身の健康管理に注意していただきたいと思えます。

まず、早寝早起きの規則正しい生活を心がけることです。隔日登校で、一日のリズムが整えにくく、夜更かしをして、朝ゆっくり起きるということもあったかもしれません。早寝早起きの規則正しい生活を送ることは、健康な生活をおくる基本です。本来、人は「夜になると眠り、朝になると目覚める」という体内時計をもっています。これを、『睡眠覚醒リズム』というのだそうですが、ある大学の先生は、「規則正しい睡眠と目覚めが、心の安定とともに認知能力の発達に影響する。」と言っています。寝不足で元気ない状態で学校に来たのでは、学習に身が入らないのは当然です。

次に、朝食を食べてから登校させることをお願いします。「朝食抜きの場合、午前中の血糖値が低下しやすくなり、そのために集中しにくくなったり、イライラしやすくなったりする。」という報告もあります。朝食は、一日の生活を充実させるためのエネルギー源だと考えてください。

子育てについて、興味深い話があります。「つ」のつく年齢までは、親が子につきそい、人としての基本を身に付けさせる躰の時期であるということです。「一つ、二つ、三つ…、九つ。」「十」からは、その躰の土台の上に、社会生活上の規範や礼儀などを、子ども自らが、体験しながら試行錯誤を経て会得していくというわけです。しかし、「つ」のつく年齢を越えてもなお、子育てはいよいよ正念場を迎えているのが現状です。身を美しくすると書く「躰」ですが、「躰」の崩れは、心の崩れとして表れる場面は、本校にも少なからずあります。季節の変わり目でもあるこの時期に、子どもたちの変化の兆しや成長の手がかりを見つけ、共に知恵を出し合い、優しさとしなやかさを培う「躰」に力を合わせていきましょう。

夏休み明けからの分散登校、家庭での学習、タブレットの持ち帰り、オンラインへのトライと数々の協力ありがとうございました。学校では、引き続き感染症対策に取り組み、お子様の安全と安心を守っていきます。引き続き、よろしく願いたします。